

日米同盟の礎石

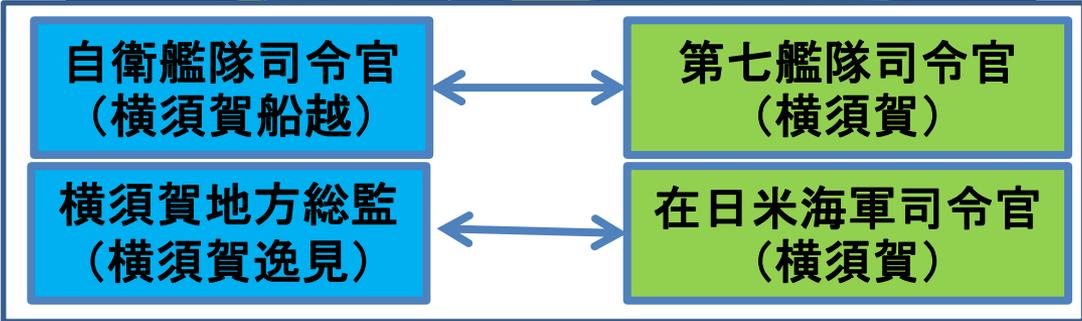
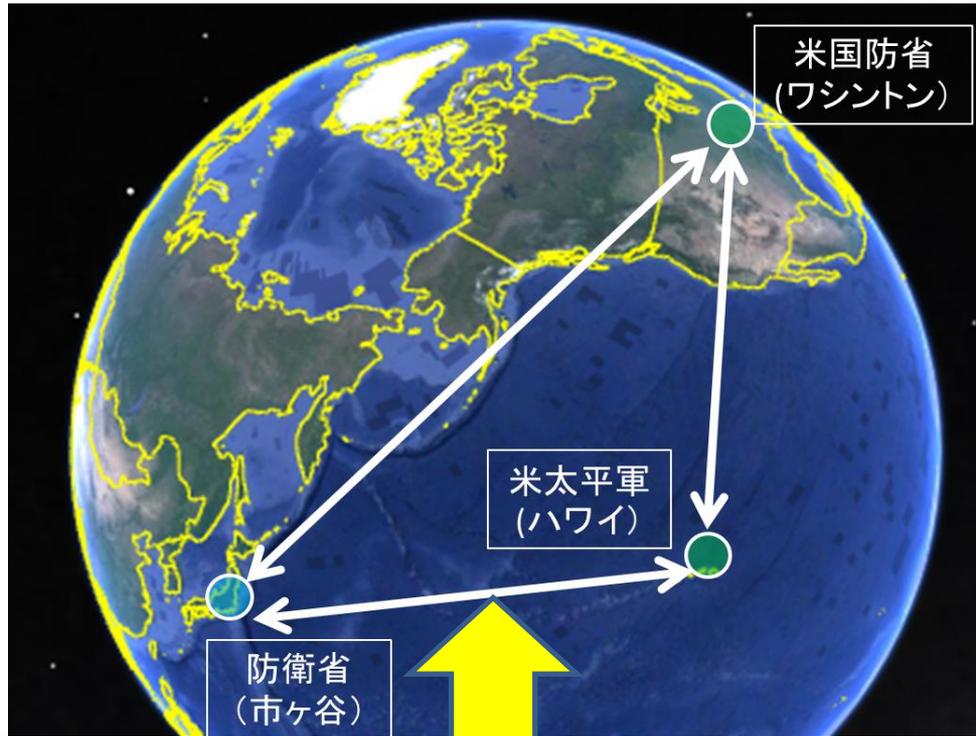
横須賀製鉄所から海軍工廠へと約77年間、横須賀は日本の近代化、帝国海軍を支えてきた。

そして戦後海上自衛隊と米海軍の基地として再出発します。熾烈な戦いが故の、強固な海自と米海軍の紐帯、日米同盟の礎石とされています。

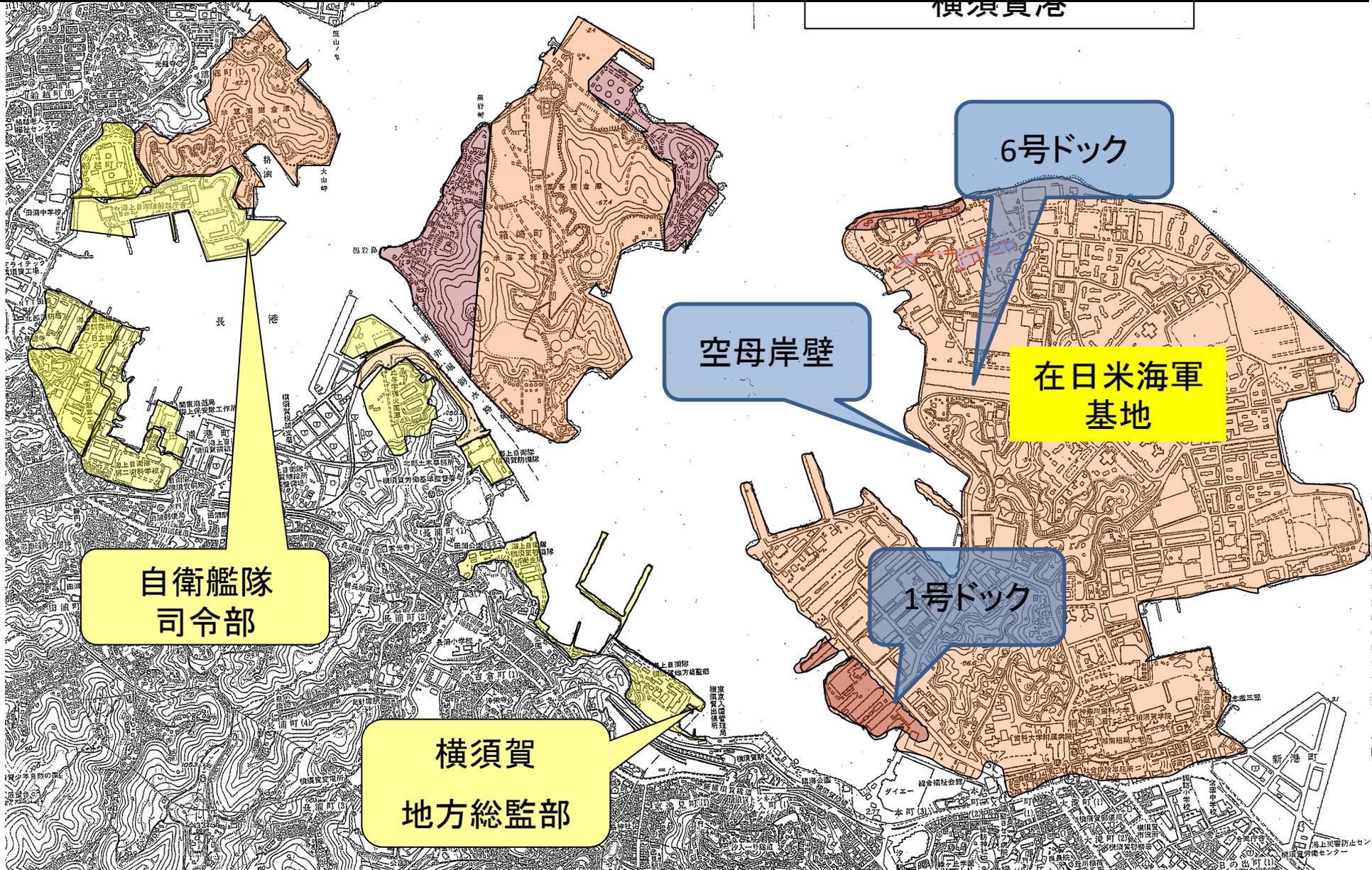


、日本海で共同訓練する米空母ロナルド・レーガン（左端）、ニミッツ（その右上）、セオドア・ルーズベルト（右端）。レーガンの後方は海上自衛隊の護衛艦いせ（海上自衛隊提供）

日米共同を支える横須賀



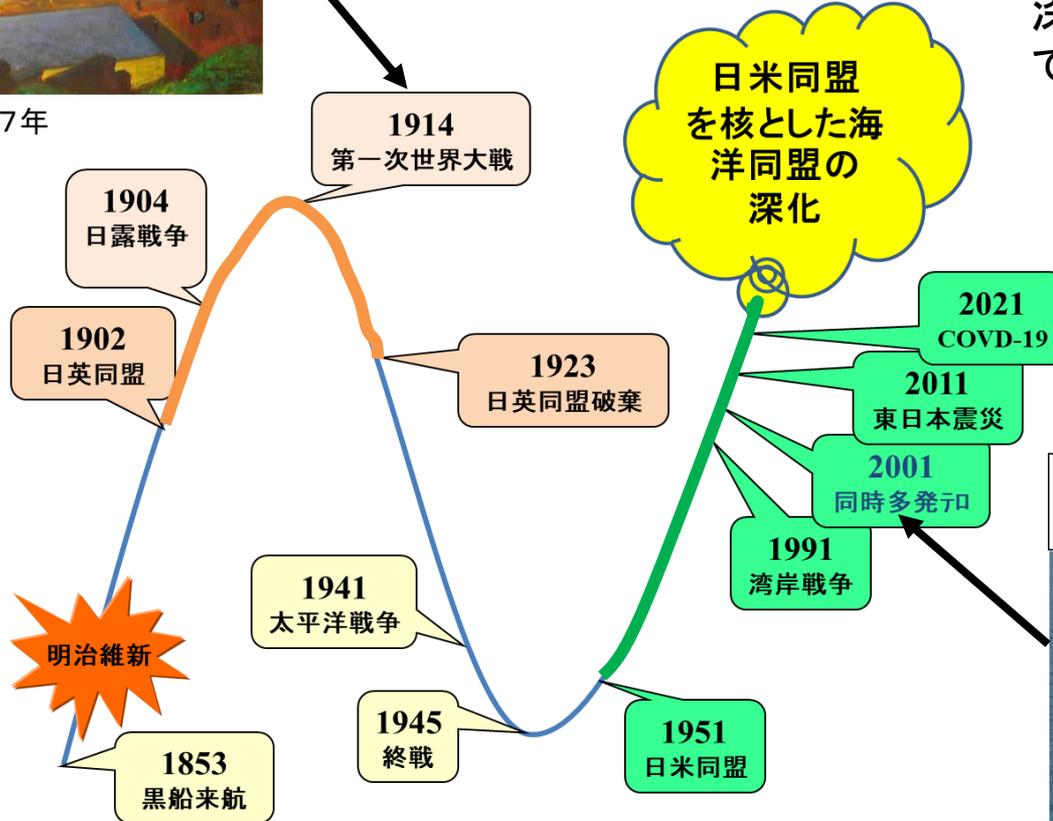
日米共同を支える横須賀



同盟の歴史と今後



1917年



日露戦争は日英同盟に支えられたと言われます。さて、世界の情勢が厳しくなる中日米同盟を核とした、海洋同盟の深化が求められているのではないのでしょうか。

